

上越教育大学教職大学院

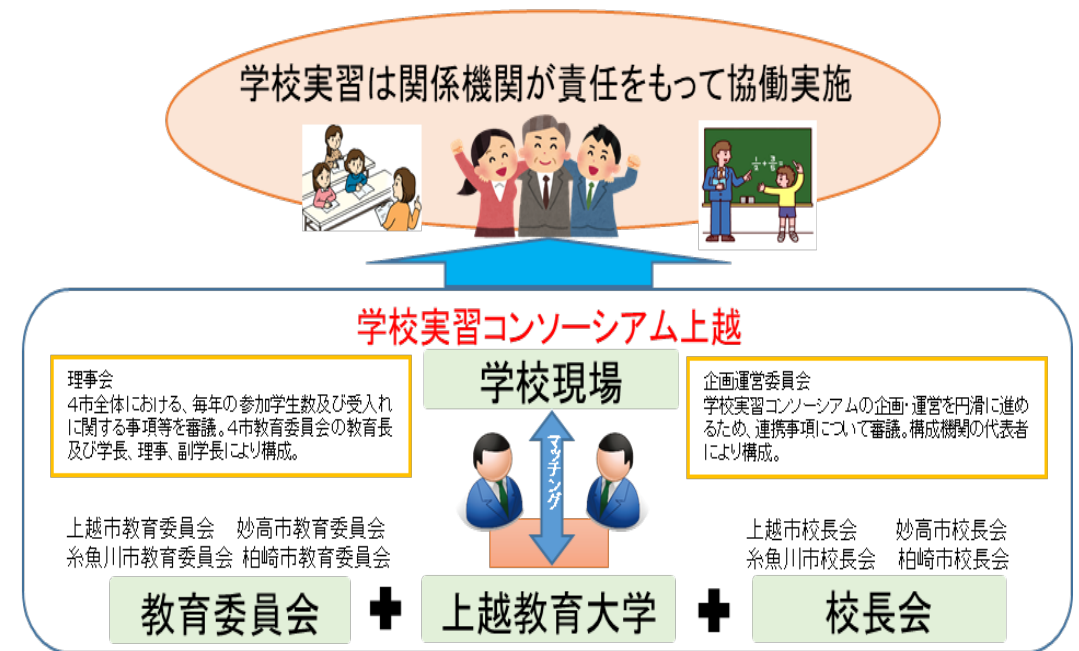
地域と共に多様な学校課題に参画：「学校実習コンソーシアム上越」

平成30年7月、本学では平成20年度の設置から10年以上の実績を誇る本学独自の教職大学院のカリキュラムの中核である「**学校支援プロジェクト**」のシステムを拡張し、「**学校実習コンソーシアム上越**」を設立しました。そして、開学以来、連携・協力体制を構築している地元**上越市**及び近隣の**妙高市**、**糸魚川市**そして**柏崎市**の**4市教育委員会**並びに**4市校長会**と本学が学校実習を協働実施する体制の強化を図りました。

これにより、幅広い専門分野を有する各研究室に所属する大学院生が、チームで地域と共に多様な学校課題の解決に参画しながら、同時に、理論と実践を往還する「学校支援プロジェクト」型の「**質の高い学校実習**」を**大規模に（300人を超えるレベルで）実施**することが可能となりました。

令和4年4月より、本学教職大学院は、これまで修士課程において**特別支援教育**や**教科等の理論的な研究**を中心としてきたスタッフも教職大学院に集結し、幅広く、より高度な実践研究を可能とする教職大学院（入学定員190人）へと拡充しました。また、**Society5.0**に対応した**ICT指導力**を養成する機能も強化され、さらに多様な学校課題の解決に参画することが可能となっています。

学校実習コンソーシアム上越のイメージ



令和4年度は、「学校実習コンソーシアム上越」を起点に、大学の各研究室と連携を希望する4市の各学校等（令和4年4月現在の4市管轄内の学校数131校）との間のマッチング作業等を行いながら、**チーム数126**、**参加学生数延べ342人**の大規模な学校実習を実現しています。